

## 大阪 需給面に崩れなく上下動に乏しい展開

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は上下動に乏しい展開が続いている。東京製鉄関西サテライトヤードの下げ改定に対して、電炉側が追従へ動く気配がなく、市況は様子見ムードを強めたままにある。同地区電炉の実勢値はH2が5万1000~5万2000円(一部上値5万2500円)、新断バラが5万3000~5万4500円、鋼グライ粉バラが4万7000~4万8500円見当で推移。

東京製鉄は26日から田原、宇都宮工場、名古屋サテライトヤードで1,000円の値上げを行ったのとは対照的に、関西サテライトヤードが開設して初めてとなる一律500円の値下げに踏み切り、特級買値5万1000円へ後退している。これに対して、東京製鉄の拠点間での上げ下げ交錯に加え、為替も1ドル=160円を突破するな

ど、明確な下げ材料が見当たりにくいことを理由に、電炉筋は様子見姿勢を維持している。

東京製鉄関西サテライトヤードの日量の調達からしても、今回の値下げが電炉入荷に与える影響は限定的と見られ、需給バランスに極端な崩れをもたらすことは考えにくい。しかし、月末にかけても入荷抑制に向けて、一部で荷制限が行われ、電炉需要にバラつきが残っている。7月後半からは複数で炉休が計画されており、調達意欲のさらなる落ち込みが避けにくい展開にある。このため、「東高西低や円安が下支え材料だが、府内メーカーは需給が価格に反映されやすいだけに、7月以降も不安定な側面は残っている」(ヤード業者筋)との見方が多くを占めている。

### ワンライブ、環境展に「メタライブ」を出展 業界関係者が多数来場

金属リサイクルや経営コンサルタント事業を展開するワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、百井一貴社長)は、5月22から24日に東京ビッグサイトで開催された2024NEW環境展に金属リサイクル業界向けのスマホアプリ「メタライブ」を出展した。同社のブースには、産廃事業者や金属スクラップディーラーなどの企業が多数来場した。

メタライブは、金属スクラップの売買に関する専門的な見積書の作成や情報共有機能を無料で使えるスマホアプリ。配信開始以降、金属スクラップディーラーや商社らを中心にインストール数を伸ばしている。今年バージョン2へのアップデートを実施し、ヘルプペー

ジの追加や商談機能の大幅リニューアルを行うなど、機能の充実化を図っている。

出展中は、メタライブの紹介動画のほか、同社がリサイクルしているレアメタル、汚泥、スラッジなどの現物を展示。また、今年も来場者向けに悩み事や現在導入しているシステムなどを記入するアンケート調査を実施し、100社以上の企業がアンケートに答えた。

百井社長は「今年は当社のリサイクル事業に関するものも展示していたので、昨年と違った意見や相談を聞くことができた」と話している。また、「事前に当社のブースに来場できない旨の連絡をいただいていた事業者様にはアプリを説明するために訪問する予定もある。このように反響も増えてきているので、その際に聞いた話やアンケート調査結果を生かし、アップデート役立てていきたい」とも話しており、来春にもアップデートを行う方針を示している。



アプリの登録はホームページから

### 総合メタルリサイクル企業

本社第二工場でお困りの際はぜひ一度ご連絡ください。

**ギロチンダスト**の受入れ開始!

製鋼原料全般  
ギロチンシャー加工



**日鉄萬金属株式会社**

代表取締役社長 木村啓孝

本社第二工場 滋賀県愛知郡愛荘町長野1414-1  
TEL0749-49-4335 FAX0749-49-4330

### 読者専用ページ

日刊市況通信(日刊紙)をWeb上でご覧頂けます。

※ 読者専用ページのID・パスワードの発行は日刊紙購読1部につき1件です。

※ 発行日の朝7:00に公開。

詳細・お問い合わせは、日刊市況通信社ホームページ または info@mri.jp

